

## 芦屋市民生児童委員協議会の活動

顔の見える関係を地域と築きながら活動を行っています。その活動の中から、いくつかを紹介します。

### 福祉を高める運動研究会の開催

支援が必要な高齢者、障がいのあるかた、児童等の世帯に対し、各民生委員・児童委員が行った調査をもとに行政、各関係機関と一緒に、情報共有を行っています。

### 緊急・災害時要援護者台帳の作成

高齢者・65歳未満で障がいのあるかた、特に一人暮らしのかたを中心に、民生委員・児童委員が訪問し、かかりつけ医や緊急時連絡先等の聞き取りを行い、台帳を作成しています。

### 主任児童委員連絡会の開催

正副会長・主任児童委員・子育て推進課、家庭児童相談室・学校教育課等の職員が月1回集まり、特に見守りや対応が必要な児童の情報共有を行います。

### あい・あいる一むの開催

市内の公共施設で親子が気軽に集える場所で、民生委員・児童委員、主任児童委員が親子の仲間づくりや情報交換の場として開催しています。



あい・あいる一む(打出教育文化センター)

### 子育て応援団の活動



#### 赤ちゃん応援ネット事業

##### (1)赤ちゃん訪問

赤ちゃんが生まれたご家庭に伺い、民生委員・児童委員が作成した手作りのスタイ(よだれ掛け)をプレゼントし、子育てに関するさまざまな情報を提供しています。訪問の申し込みは、芦屋市保健センターの保健師等が「こんにちは赤ちゃん訪問事業」で訪問した際にお伝えください。

#### 赤ちゃん訪問を受けたお母さんの感想

「手作りスタイ、とても可愛かったです。早速赤ちゃんにつけてあげたいです。また、何か困った時に頼りにできる民生委員さんにお会いすることができたので、とても安心できました。」

##### (2)トライやる・ウィークの受け入れ

児童委員の活動体験として、スタイづくりや赤ちゃん訪問等を中学生と一緒にしています。

#### 生徒のお礼状より一部抜粋

「今回の活動を通して、仕事を楽しくすることを学びました。福祉の仕事は、一人でやろうと思ってもなかなかできません。でも、チームを作ることによって、人を思いやる気持ちや、人に優しくすること、協力することの大切さに感動しました。」



スタイづくり

##### (3)夏休み福祉ボランティア活動

中学1～3年生を対象とした、3日間の福祉活動体験です。スタイづくり、赤ちゃん訪問、福祉施設への訪問等、ボランティア体験を行います。



エルホーム芦屋

#### 生徒の感想文より一部抜粋

「スタイ作り、エルホーム芦屋や、赤ちゃん訪問に参加して、相手の気持ちを考えること、相手の身になって考えることが、少しできるようになったと思います。私の周りにはたくさんの方がいるということを実感し、自分にできることがあるかなと考えることができました。」

## 現場で活躍している主任児童委員・民生委員・児童委員にインタビュー

### 主任児童委員 中田伊都子さん

「主任児童委員をしてみない？」5年前、福祉推進委員をしていた私に声をかけてもらったことがきっかけでした。もともと子どもが好きだったので「子どものためだよ」の一声に押されて主任児童委員になりました。

主任児童委員の役割は、子どもの成長や子育て家庭を見守り、相談相手になることです。

「赤ちゃん訪問」や「あい・あいる一む」でお母さんお父さん達と交流し、地域との橋渡しをしたり、子育てについての話をしています。本当に子育てで困っているかたには家庭児童相談室などの機関を紹介することもあります。

子どもの泣き声などで周りに迷惑をかけていないかと気を遣い過ぎているお母さん。子育ては全て1人でしなければいけないとプレッシャーを感じているお母さん。最近は、子育てに対して真面目に考えすぎるお母さんが多い印象を受けます。

市内では、子育て中のお母さんお父さんを対象とした色々なイベントが開催されていますので、ちょっとした息抜きに参加してみてください。周りには温かく見守ってくださるかたが沢山おられますし、同じ年頃の親子と出会えるかもしれませんよ。

「あい・あいる一む」をきっかけに知り合った親子が今でもお友達としてつながっていると聞きしたときはとても嬉しかったです。

これからも主任児童委員を通じて、子育てを頑張っているお母さんお父さんに「大丈夫だよ」って伝えられる地域の輪を広げていきたいです。



### 民生委員・児童委員 田中航次さん

サラリーマン時代は仕事が忙しく、家と職場を往復するばかりで、地域と関わる時間はほとんどありませんでした。

定年退職を迎えた私は、近所を歩いていて顔見知りのかたがほとんどいないことに、これは良くないと感じていました。これからは地域の皆さんと関わって生きていきたいと考えていた時に、民生委員の誘いがあり、地域のためになるなら引き受けました。

民生委員を務めて来年で9年目を迎えます。初対面のかたと話をする時は、相手が不快にならないよう言葉は慎重に選んで話します。

地域のかたに民生委員として顔を覚えてもらうには、ある程度時間がかかります。最初は一言、二言のあいさつを交わす程度であったかたでも、何度も顔を合わしているうちに気軽にお話ができるようになります。

今では近所を歩いていても子ども達ともあいさつを交わし、地域に顔見知りが増えた実感があります。民生委員になる前は、朝日ヶ丘町がどこからどこまでか分からなかったのですが、今では他の町の場所まで分かるようになり、町への愛着が湧いてきました。

民生委員の活動は多岐にわたるため忙しいですが、皆さんに喜んでいただいたときは、引き受けてよかったと思います。見守り活動では、私が男性ですから男性の一人暮らしのかたは特に気になります。家事が不得手なかたも多いでしょうから、地域の食事会に参加してもらうようにお誘いしています。男性の民生委員は全体の2割程度ですので、男性の民生委員が増えたら嬉しいです。これからも誠心誠意をモットーに大切に民生委員の活動を続けたいと思っています。

